

時事新報は一年三百六十五日一日も休刊無し

時事新報

第二千七百四十五號
明治廿三年八月十三日 水曜日
舊曆庚寅六月廿八日 (丙寅)
日 出 午前四時五十九分
入 午後六時三十分
月 入 午前二時三十分
出 午後五時三十分
年 入 午前四時三十分
出 午後三時三十分
(西曆一千八百九十年)

虎列刺豫防の義捐金募集

去る六月末虎列刺病毒長崎市街に發して忽ち全縣下に蔓延し遂に九州の各縣に廣がり今は中國筋の一二縣に及び此程に至ては東京市街に侵入せんとするの勢あり既に該病に罹りて倒れたる者さへあり若し長崎市街の例を東京府下に再演する事もあらば其慘狀測られざるものあらん素より病毒の豫防に就ては當局者に於て夫れく方法を設け用意既に整ひたりと雖も期る病毒蔓延の勢ある今日に當り市民は當局者の爲す所に一任して心を安んず可きに非ず況んや病毒一たび貴民の間に蔓延せば治療の實に窮して其慘狀見るに忍びざるべし隨て病毒傳染の勢を助け府民の禍一方ならざれば本社は此際廣く世間の慈善家諸君に義金を募り大日本私立衛生會に托して府下貧弱者治療豫防の資に供せんとす世の慈善者諸君左の諸項に従ひ多少に拘はらず義金を授せられんとを乞ふ

時事新報社

時事新報

一 義捐金は一口十圓以上とす
一 義捐金は東京市京橋區南橋町二丁目十二番地時事新報社に送付せらるべし
一 時事新報社に於て義捐金を受取りたる時は日々正午時までに達したる分を取纏め義捐者の姓名並に義捐金額を翌日の新報に掲載し之を以て金員受取の證とす

一時時事新報社に集りたる義捐金は相應の高に達し次第隨時大日本私立衛生會に送付し同會に托して府下貧民のコレラ豫防治療の資に供し義金消費の方法は後日新報紙上に公告すべし

東京石炭

佛領東京地方には石炭富饒の場所ありて坑區廣大無盡と稱し近頃佛國起業者中、之を採掘せんとして東京石炭會社ある者創立しるるに香港邊にて有名なる英國商人なども株主となりて其評判の高きに隨ひ會社株券は異常に騰貴し一時は拂込金額の凡そ七倍に達したるもありしよなるが同社事業の設計は今や已に充分な數の土人礦夫を役使し日々採掘其量少からず唯其産炭の未だ市場に出でざるは其口より港頭まで運すべき鐵道工事尙成就せざるに因ると雖も來年十一月頃には右工事も完成すべきが故に運くも來年より此地地方豐富なる石炭は各地殊に東洋の市場を賑はすに至るべしと云ふ尤も我當局者が此程同地産を取寄せ實際を試験したる成績に従へば炭中に含有せる炭素に對して揮發物割合に少量を以て火附き思はしからず燃用上多少の面倒あるを免れざれども火力其他の點に於て別に申分なく宛に角今後の石炭市場に侮る可らざる剛敵なるべしと云ふなり、我輩の聞く所に據るに從來支那近海より海峽殖民地に掛けて南亞細亞一帯の地方は石炭の供給割合に少なく或は遠路を厭はずして其供給を遠隔地に仰ぐの勢ありたれば近年日本の石炭も次第に販路を該地方に開き進て九州各地に於て採掘事業の勃興するに至らば我日本石炭は東南亞細亞沿海岸の市場を一手に引受けて之を支配する程の勢力を得べしとの事なれども今東京地方に於て果して石炭の無

盡あり之を採掘して市場に出すに格別の勞費困難なくして炭質も相應の者ならんには南亞細亞沿岸の市場にて之を需要するの急なるは馬頭米蓋も實ならず其需要心の一般に此石炭に傾くは即ち自然の勢にして日本石炭の輸出上非常の影響を及ぼすのみならず内の石炭市場上にも亦大變動を來す可しと云ふ可し一步を進めて考ふるに今彼の東京石炭が追々市場の需要に應じて其産額を増すに至らば早晩南亞細亞に起らんとする形勢一變の機を促して之を急にするの 趣を生ず可きは我輩の務に推測する所なりと申すは他に非ず近年英國の商業は東南亞細亞並に澳洲一方に廣がり今より前十年間に英國より加奈太へ輸出したる綿布は凡そ百分の十を減じ又米國の分は同四十四を減じたれども澳洲地方へ輸出する綿布は百分の七十三を増加し英領印度に向ては百分の五十、支那香港日本は同五十七を増して英國中にて製造する綿布の凡そ四割三分は支那印度の需要する所と爲れりと云ふ左れば英國有志家中鐵道を以て印度と支那とを聯絡するの考案を抱くもの多く其線路の由る所に就ては固より種々の説あれども一説には英領緬甸のモルメイン港を發點とし一線は緬甸を貫通して印度線に聯絡し一線は直に暹羅國に入り兼ねて同國より東京を経て支那地方に通せんとする鐵道事業を計畫する者と共に協同合力して南亞細亞地方一帯に鐵道の交通を開かんには貨物出入の便利を増して英國は勿論、歐洲諸國共に其貿易を擴張するものとを得べしと云ふ現に英國ランカシャー地方の製造家は其綿布貿易上後來東南亞細亞を以て新大市場と爲すの考あるが故に南亞細亞鐵道の起業實本に就ては充分其力を致す可き可く斯くて時勢の熟するに隨ひ早晚鐵道の成就するあらば人文上に貿易上に南亞細亞各地方に向て一大變動を及ぼさんとする其折衝、近頃世上に風説するが如く東京地方に石炭山ありて追々採掘に着手するに隨ひ價の安き石炭が市場に溢れ出づるものとあらば彼の鐵道計畫者の如きも忽ち其勢を得て一層發達の念を増し文明交通の便法も愛に忽ち援助して南亞細亞形勢一變の機會を作るものと必然にして我日本國の如き社交上に政治上に隱然その影響を響るは勿論、其實に於ては彼の石炭業者に對して直接の利害を及ぼす可きが故に當業者の此邊に注意す可きは申すに及ばず我政府中商工業上の局に當るものは斯かる事態に最も力を致す可き等なれ事の眞實を充分に見定め當業者をして前以て之に應ずるの用意あらしめんふと我輩の偏に希望する所あり

船の検査

長崎市内にコレラ病の發生して遐々各地に蔓延するの勢あり目下各要港に於ては船の検査法を實施し居れり頃九州中國邊より便船に乗込み斯の検査施行の中を通過して上京したる二三の人に就き検査の模様を聞得たれば茲に記載せんに船の検査は長浦を始め和田岬、馬關の要所を始め各港船の

從警する處に行はれ殊に消毒法執行の用意整ひ居るは獨り長浦、和田岬の兩所ありとす左れ東京、神戸其他より西南の諸港に向て航行する船舶に對しては別に検査の手續を執行せず東に向て航するものみに對し検査する事なり倍此検査には凡そ三種ありて第一は長崎港を經又は發して東航するもの第二は馬關、廣嶋を經又は發したるもの第三は岡山其他以東の諸港を經又は發したるものにして第一長崎港を經又は發したる船舶は馬關其他の諸港に於て検査を受く其手續は先づ船の港に着するや醫師警官等の検査官乗船に乗じて入港船に臨み船の乗組員并に乗客に就き航海中コレラ又は下痢に罹りたる事の有無を問ひし身體衰弱したるものある時は醫師之を診察し斯くて船中にコレラ患者なしと認定すれば始めて乗客の上陸を許す乗客上陸の際には検査官港頭に出張して其姓名並に發着地を問ひして一々之を手帳に記入する事ゆゑ後日病毒傳播の道筋を調査するには専らからざる便益を與ふる事ならん斯の如くして船の各港に着する毎に大同小異の手續を経て兵庫の和田岬に着すれば茲には該岬と淡路の中間なる海上に検査船一隻發着し居り端舟並に小蒸汽船を備へて船舶の入港を待つ長崎より船舶に到着すれば検査船より直ちに停船を命じ船中を検査したる上、乗客並に乗組員に上陸を命じて一同に入浴せしめ且つ衣類等に消毒法を行ひ此等の手續を経て船舶再び航行を始めるとは凡そ四時間少許を要す是より神戸に入港し再び出港して横濱に向ふ時は長浦の沖に名古屋丸を停べ小蒸汽船端舟等の用意は和田岬に異ならず船は茲にて進行を止むれば検査官小蒸汽船を徒らせ船舶に近寄りて長浦港に進行す可き旨を命ず船は此命により長浦の港口に進入して器械の運轉を止め汽笛を鳴して入港を報ずれば長浦より検査官三四名小蒸汽船に乗りて本船に入り船員乗客を検査する事關西諸港と大差なし此時船員は和田岬なる検査官より受取りたる検査證書に其後航海中に異状なき旨の證明書を添へて検査官に呈出す斯くて船中に患者なしと認定すれば其れにて本船に出港を許す手續極めて無難なり是式の検査を執行するに長浦の港口まで進行を命じて許多の時間を浪費せしむるの直打ありとも思はれず現に検査船名古屋丸は沖合に旋回して醫師數名之に乗組み居れりと云ふが如し若し沖合に於て検査を遂げ患者を發見したらんには其時始めて入港を命ずるも晚しとせず或は名古屋丸には相當の醫官を備へずとせば、速に醫官に出張を命ず可きのみなきに於て検査法の實施には動もすれば苦情多きに斯く無用の手續と時間を費やさしむるは事と處するの巧なるものにあらざるべし因に記す此検査實施に就きては船舶を所有する會社と相談を遂げさりしものと見え船員の眼より見れば斯く々々の手續を肝要なるべきに左はせずして却て斯く々々の事に手数煩はすは竊に怪訝に堪へずと雖も船員も亦三分の一なりと云へば當局者は此邊に就ても注意を要する事なるべし又第二に馬關、廣嶋を經て東行する船舶は寄港の度毎に検査官の検査を受くる事前記に大差なければども唯和田岬に着したる時暫時停船して船員并に乗客の検査を受け検査官に於て船中患者なしと認むれば直ちに航行を許す第三、岡山邊より東航したる船舶は途中の寄港に検査官の臨検するは前記の如くあるも手

續甚だ簡便に船中に異常の如し西の過ぎざれば

○商業會館
之し如く宜布の速かき

○大坂商法
に其家屋の

○大坂商會
に其家屋の

○大坂商會
に其家屋の

現住所

京都市河原町
神戸市北長
同市下山手
大坂市西區
東京市東區
大坂市東區
同市西區
同市南區
同市北區
同市東區
同市西區
同市南區
同市北區